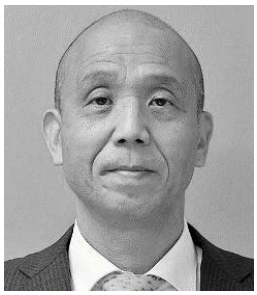
科目名			担当教員	
精神保健福祉の原理Ⅰ			三城　大介	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CR3182	2	1	RorSR（講義）	2年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	



科目の概要

■科目の内容

精神保健福祉の原理Ⅰでは、「障害」や「障害のある人」についての捉え方について言及したうえで、そこから、心の病がある人の疾患や障害、生活のしづらさについての学びを深めていきます。我が国における障害者福祉の史的変遷を、精神障害者のそれを意識しながら学び、精神疾患がある人や精神障害がある人がどのような社会的立場に置かれてきたのかを知ることにより、精神疾患や精神障害についての学びを深めていきます。
また、イタリアやアメリカを中心に精神保健福祉先進国と呼ばれる諸外国との比較検討を行うことで、より精神疾患や精神障害についての知見を深めることを狙いに講義を進めます。

■到達目標

1）障害の捉え方について自らの言葉で述べることができる。
2）障害の捉え方について説明できる。
3）我が国の精神障害を中心とした障害の制度やそれに対する意識の変遷を説明できる。
4）精神保健福祉先進国と我が国の精神保健福祉についての取り組みの違いを自身の言葉で解説できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「精神保健福祉の原理Ⅱ」と共通）
日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新精神保健福祉士養成講座［専門科目］5 精神保健福祉の原理』中央法規出版、2021年
（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、適宜配付する資料と板書を中心にして講義を行います。

【参考図書】
W・ウォルフェンスバーガー著富安芳和訳『ソーシャルロールバロリゼーション入門―ノーマリゼーションの心髄』学苑社、1995年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

このスクーリングでは、先ず障害や障害者の捉え方についての視点を持ったうえで、精神障害や精神障害のある人についての考察を深めてください。

次に、先進国と比較して我が国の精神保健福祉施策や制度、意識の課題としての遅れを知って欲しいと思います。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	障害と障害のある人の捉え方	障害者福祉の史的展開と障害についての思想
2	精神疾患と精神障害	精神疾患と精神障害、生活のしづらさの理解
3	精神障害と精神障害者の概念	我が国の制度変遷からみる精神障害者観
4	精神障害の障害特性	ICF と精神障害の構造的理解
5	精神障害の理解と支援	アプローチの方法と自助グループ
6	諸外国における精神保健福祉の展開	イタリアとアメリカを中心に諸外国の状況を知る
7	我が国における社会的排除	治安モデル、医療モデル、福祉モデル
8	精神保健福祉先進国との比較	イタリアやアメリカと我が国の精神保健福祉の比較考察質疑応答
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

適宜資料を配付し、板書を中心に講義を進めます。

補助的にテキストも使用します。

■スクーリング評価基準

精神保健福祉先進国との施策や制度の遅れ、精神障害についての意識の違いの理解を求めます（持ち込み不可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

1）教科書の序章を読み、自身が障害者をどう捉えてきたのか振り返ってください。

2）「障害者」の語源について調べてください。

3）イタリアの精神保健福祉の場でよく使われる「白衣を脱いで街に出よう」という言葉について、インターネット等で調べてください。

4）アメリカのボクシングヘビー級のチャンピョンだったモハメド・アリと徴兵制度の関係を調べておいてください。

5）社会防衛規制と国親思想について調べておいてください。

6）アメリカ、UCLA のバークレー校でエド・ロバーツが始めた IL 運動について調べておいてください。

7）フランスの精神病床減少施策であるセクトリゼーションについて調べておいてください。

8）テキスト第 1 章にある相馬事件・ライシャワー事件・宇都宮病院事件・池田小事件について調べておいてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

1）障害と障害者観について、自身の言葉で整理してください。

2）我が国の精神保健及び精神保健福祉の制度の変遷について、治安モデル（社会防衛規制）・医療モデル・福祉モデル（国親思想）に整理分類したうえで、それぞれの特徴を比較してまとめてください。

3）欧米の精神保健福祉先進諸国の制度や取り組みの特徴をまとめてください。

4）我が国の精神保健福祉についての史的展開と欧米のそれを比較してまとめてください。

5）若国の精神保健福祉制度の課題について自身の言葉で説明できるようにまとめてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	障害の捉え方 （序・1 章）	障害の捉え方とその概念について。	障害や障害者の捉え方について考えてみましょう。 また、精神障害がある方の生活のしづらさについてその構造を明らかにしてみましょう。
2	精神障害者福祉の理念と史的展開 （1章）	精神障害や精神障害者に対しての社会の応対を確認する。	精神疾患への薬物治療が始まったのは、1960 年代のクロルプロマジンの発見以降です。 薬物治療開始以前の処遇とそれ以降の処遇、そして近年の状況についてテキストを参考に学んでみましょう。
3	精神障害者の定義と ICF （2章）	ICF による障害や疾病の分類を理解したうえで、精神障害を定義する。	ICIDH と ICF の分類方法の違いを理解する。その上で、精神障害を ICF にあてはめ、精神障害の定義を理解しましょう。
4	精神障害者の障害特性と生活のしづらさ （2章）	精神障害者の障害特性を理解し、精神保健福祉士に必要な視点を理解する。	精神疾患と精神障害、そして症状の固着や副薬の副作用などによる生活のしづらさを理解し、その障害特性の構造を理解したうえで精神保健福祉士に求められる視点について考察を深めてください。
5	精神障害の理解と支援 1 （2章）	代表的なアプローチ方法とその構造を知る。	自助グループについても理解する。 精神障害がある人へのアプローチの展開過程やその具体的方法について学んでください。
6	精神障害の理解と支援 2 （2章）	認知症疾患がある方のサポートと精神保健福祉士の視点	認知症は ICD－10 で器質性精神疾患に分類され、各都道府県の精神科医療圏域ごとに認知症疾患センターが精神科医用機関に設置されています。認知症疾患に対する精神保健福祉士としての視点を考察しましょう。
7	当事者運動と自助グループ （2章）	アメリカにおける精神障害者の当事者運動や、我が国の当事者運動を知る。	様々な自助グループとその意義についても理解を深めましょう。また、精神障害以外の当事者運動の理解も深めましょう。
8	精神障害者に対する諸外国の取り組み 1 （3章）	アメリカにおける精神保健福祉の取り組みについて理解する。	ケネディー教書での施設解体から 1980 年の州立精神科病院解体法、1990 年の ADA 法に至るまでの制度的な流れを理解する。

9	精神障害者に対する諸外国の取り組み２（３章）	イタリアの 180 号法（バザーリア法）までの地域移行の展開や、フランス、イギリスなどの取り組みを構造的に理解する。	テキストを基にイタリア、イギリス、フランス、ニュージーランドなど、精神保健福祉先進国の制度的取り組みの構造と内容を理解する。
10	我が国の精神保健福祉の制度的変遷（３章）	我が国の精神保健福祉の制度的変遷から見る精神障害観の変遷	相馬事件や呉秀三の私宅監置の実態報告を契機とした精神病者監護法から精神保健福祉法に至るまでの制度変化を学ぶ。
11	諸外国の取り組みとの比較（３章）	これまでの考察を基に、我が国の精神保健福祉制度の変遷と諸外国のそれを比較分析する。	諸外国の治安モデルから福祉モデルへの移行がどの時期にどういった方法で行われたのか、それを我が国の状況と比較考察することで、精神障害者福祉の課題について考察する。
12	当事者の権利と社会的バリアー（３章）	我が国における精神障害者の排除の歴史について	治安モデル下での相馬事件や医療モデル下での宇都宮病院事件、福祉モデル下での池田小事件や相模原障害者殺傷事件から、当事者の権利と社会的障壁について考察を深める。
13	当事者支援と家族支援（３章）	精神障害者支援の対象者を明確にし、その上で、当事者とその家族の支援について理解する。	精神障害の対象範囲を明確にした上で、アルコールや薬物の依存症者やその家族など、疾患による支援の状況を理解する。
14	シームレスケアの為の方策（３章）	シームレスケアの重要性と、具体的な課題について整理し、理解する。	我が国の国策の不備も含め、医療・教育・福祉の連携の課題を明らかにし、シームレスな地域移行や地域定着の重要性と具体的な課題を理解する。
15	全体の振り返り	序章から３章までの内容を振り返り、理解を深める。	これまで学んだ、精神障害についての概念や史的制度展開、諸外国との比較、当事者の捉え方やアプローチの方法などについて、連関された知識として整理する。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	精神保健福祉先進国に比べ我が国の精神保健福祉が遅れていることを意識したうえで、精神障害や精神障害のある人の支援のあり方について、独自の視点で考察してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

簡潔にまとめてください。我が国の精神保健福祉の状況やこれまでの経緯、そしてこれからの課題を先進諸外国のそれと比較検討しながら分析したうえで、あなたの思う精神障害者像や精神障害についての捉え方を述べてください。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

我が国の治安モデルから医療モデル、福祉モデルへの変遷と先進諸外国のそれを比較することで、精神保健福祉の遅れを知るとともに、わが国で精神障害や精神障害がある人がどういった課題を抱えてきたのかを整理検討し、そのことについて独自の視点で考察を深めてください。

科目修了試験

■評価基準

基本的にはルーブリック評価に示されているレポート評価の基準に準じます。

それと同じ割合で、どの程度独自の視点で考察を進め論述したのかという基準も加え全体で評価します。